

令和4年度 風の子保育園 事業計画

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ①子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を身につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ②産休明けから就学まで、年齢・障がい・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者の立場にたった保育の創造をめざそう！
- ③父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ④子ども・父母・職員の立場を大切に、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう！
- ⑤保育をめぐる様々な要求を大切にし、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できるよう保育運動を発展させよう！

昨年度は、園長交替に伴い新体制となり保育、行事の中で「コロナ禍の中でもできることは何か？」「どうだったらできるのか？」を職員で考え、試行錯誤しながら実践してきました。様々な取り組みを通して、園での子どもの姿から保護者と子どもの成長を共感したり、立ち止まって考えたり、子どもの育ちを確かめ合うことができ、保護者と共に分かち合うことの大切さを改めて感じました。また、保育、行事の取り組みや災害時やコロナ対応の判断に対して保護者の園へのご理解ご協力の中できたことだと思います。

今年度は、昨年度の評価、反省を活かして、『子ども、保護者、職員にとって』に立ち戻ることを大事にし、前進していきたいと思います。まだまだ終息の見えないコロナ禍ではありますが、引き続き感染対策をしたうえで、「できることは何か？」を考え、子ども、保護者の安心に繋がるよう、丁寧に保育を伝えていくことを大事にしたいと思います。4月の園児全体数は101名です。0歳児は、7名からのスタートです。今年度、0歳児の受入れ人数は9名としていますが次年度0歳児の継続児の確保(10月から)をするために、12名までの受け入れを考えています。そのためには、保育士確保が必須です。職員体制では、正規職員2名(保育士、調理師)を採用しました。しかし、2名の保育士の確保ができていないため、派遣よりお願いしています。また、地域事業を再開し、一時預かりや2歳児保育体験から入園へと繋げていきたいと思います。令和5年度にむけて園児、保育士確保のためにも、ホームページでの風の子保育園のアピールの工夫をしていきたいと思います。

国は令和4年2月より処遇改善臨時特例事業としての補助金が分配されます。この国の補助金は4月から9月までの事業であり、10月以降については、公定価格の一部として支給される予定ですが、その場合どうなるのかが見えないため、今年度は手当として支給することにしました。静岡市は『給与改善事業の見直し』として、従来は在籍園児の数に、市の加算額を乗じて、給与改善の補助金額を算定していましたが、今後は保育職員一人一人に向けた、公費(公定価格+補助金)による処遇が等しくなるよう、制度の見直しをしていくそうです。しかし、給与改善事業の予算額は、ほぼ昨年度と変わらないと言われているので、その他の補助金の減額が予想されます。保育士等の給与改善がされていく中、風の子保育園においても今年度の職員給与の改善をしました。ここ数年、昇給が低いため若手職員の上り幅が詰まってきてしまう現象があり改善が必要でした。若い職員が、継続して働き続けるためにも初任給アップも含め、2年間の計画の中で給与の改善をしていきたいと思います。

事業計画案

令和4年度保育体制

歳 児	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
受け入れ可能人数	9	16	20	24	24	24	117
4月園児数	7	13	18	19	22	21	101
新入园児数	5	5	1	1	2	0	14
保育士	3	3 (+派遣)	3 (+派遣)	2	2	2	15 +派遣(2)
職員数	園長(1)事務長(1)主任(1)給食(2)事務(1)地域(1) 朝パート(1)保育補助(1)給食補助(1)清掃(1)						26人 +派遣(2)

(具体的な取り組み)

(1) 保育

保育理念 『一人ひとりの育ちを大切にする』

保育方針 体 しなやかに動く体を育てる

心 物事を深く感じられる心を育てる

言葉 聞く・伝える・言葉を育てる

感性 自分でやろうとする力を育てる

- ・子どもの育ちをきちんと捉え、発達の姿と照らし合わせながら、丁寧な保育をしていく
- ・職員一人一人が子どもの育ちを捉え、実践していくために、園内研修や研修を充実させていく

(2) 保護者と共に

園行事や父母の会活動について、計画をたて、状況を見て実行していく

(3) 地域事業を充実していく

- ・地域職員を配置し、一時預かりや2歳児保育体験の再開をしていく
- ・2歳児保育体験から、入園へと繋げていきたい

(4) 職員の給与改善

①補助金(国の処遇改善臨時特例事業4月~9月/公定価格に組み込まれる10月~3月)

- ・手当として配分していく(別紙参照)

②職員給与の改善と調整をしていく

- ・1年目から15年の職員に対して初任給アップ+3号俸の昇給
- ・2年間の計画の中で、給与改善を行い若手職員の継続へと繋げていきたいと考えています
- ・16年から33年の職員に対して3号俸の昇給。責任給として処遇改善Ⅱを当ていく

(5) ホームページの改善

- ・園児、保育士確保にむけて、風の子保育園のアピール!! をしていく

(6) 園舎のメンテナンス計画を考えていく

- ・園舎の屋根の塗装・・・三和塗装 見積もり額(2,152,040 円)
イハラ建成見積もり額(4,150,000 円)

(7) 今後の課題

- ・虹の家の耐震問題と今後の活用の仕方を考えていく
- ・LED 化の検討、計画